

□利用実証提案書  
■利用実証計画書

平成 27 年 8 月 5 日 Ver.1

テーマ	富士山防災における準天頂衛星利用の有効性検証	
実証参加機関 (共同機関)	日本電気株式会社、静岡県危機管理部危機情報課 公益社団法人 日本山岳ガイド協会、インフカム株式会社 NEC ソリューションイノベータ株式会社	
目的	火山に噴火の危険性が生じた場合に、自治体の防災対策本部や登山者へ迅速に情報伝達する手段として、準天頂衛星システムの災害・危機管理通報サービスを活用した情報提供が有用であることを実証する。	
期間	全体	2015 年 8 月 31 日 ~ 2015 年 9 月 4 日
	時間・頻度	●時間: 8 時 ~ 12 時 ●頻度: 2015 年 8 月 31 日 ~ 9 月 1 日 試験 2015 年 9 月 2 日 利用実証実施 ( 9 月 4 日 予備)
実施場所	●地名: 静岡県 富士山 ●環境: 山間部 ●その他: 降雨、降雪の場合は延期	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	●システム全体構成 ■システム構成 の項 参照	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<p>●実証概要</p> <p>災害危機管理通報サービス L1-SAIF 信号で火山情報を配信、QZ1 で L1-SAIF 信号を受信し、下記 3 つの手段で情報を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対策本部担当者が参照するタブレット端末</li> <li>・登山者が保持するスマートフォン</li> <li>・登山口 2 か所に設置するスピーカ</li> </ul> <p>●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能確認(情報表示および音声の発信)</li> <li>・災害通報信号受信確率の確認(ログ分析し送信回数に対する受信回数を算出)</li> <li>・測位結果の精度確認(地図上にプロットし位置精度を評価)</li> </ul> <p>●確認時期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能確認は利用実証中</li> <li>・災害通報信号受信確率の確認、測位結果の精度確認は後処理</li> </ul>	
受信信号	<p>●使用する測位信号名を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPS: L1C/A、</li> <li>・QZS: L1C/A、L1-SAIF</li> <li>・その他:</li> </ul>	
受信設備	<p>●使用する測位信号受信機などを記載</p> <p>■貸与品目/数( QZ1 / 10 台 )</p> <p>■持込品目/数( Android 端末 / 6 台、スピーカ / 2 台 )</p>	
ソフトウェア	<p>●測位結果確認ソフトウェア</p> <p>□ソフトウェア名称/概要</p>	
実証前の要求事項		
実証時の要求事項		
実証後の要求事項		

### ■システム構成

